

## 中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 コミュニティ・サポートセンター神戸	代表者名	理事長 中村順子
事業名	<基本事業> インターンシップ型リーダー養成事業 <企画立案事業> 多世代・多機能「居場所」プロジェクト		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容	
	基本事業	企画立案事業
2016年4月	(相談・情報提供は随時)	
5月		第1回実行委員会の開催
6月		第2回実行委員会の開催 ちらしの作成
7月		第3回実行委員会の開催
8月	研修プログラム内容の検討 講師依頼	第4回実行委員会の開催 第1回居場所サミット in 神戸の開催
9月	広報ちらしの作成	第5回実行委員会の開催 居場所データ集の編集
10月	広報開始	居場所データ集の印刷・発行
11月		
12月		居場所データ集のメンテナンス
2017年1月	プログラム内容の微修正	
2月	講座1日目の実施 先進事例の視察(3団体) 講座2日目の実施	
3月	報告書の作成	報告書の作成

### <効果と成果>

<p>&lt;基本事業&gt;                  県内には約1400のNPO法人がありますが、「マネジメント」という概念が十分に浸透しているとは言えません。NPO支援の現場でも、マネジメントっていったい何なのか、どこから手を付けたらいいのか、という疑問に接することが多々あります。そこで今回実施したのが「リーダー養成講座」です。自団体の強み・弱み・機会・脅威を客観的に認識できる「SWOT分析」、4つの視点で組織運営を考える「バランス・スコア・カード」を中心に、着実にビジョンを実現していくためのマネジメントツールを提供しました。また、先進的な活動を行っているNPOへのインターン、ファシリテーションや行政との付き合い方など、実践につながる知識やスキル取得のためのプログラムも加えました。NPOが個々の組織に合ったマネジメント手法を取得し、継続して活動することで地域課題の解決につながるよう、今後もサポートしていく所存です。</p>
--

<企画立案事業>

コミュニティの希薄化や住民の孤立化が取りざたされる中、地域の交流の場として注目されているのが「地域の居場所」です。誰もが自分らしくいられ、経験やスキルが活かすことができ、小商いにもつながる、そんな小規模ではあるけれど、多機能な居場所がたくさんあることが地域の豊かさにつながります。しかし、具体的にそのような居場所はどこにあるのか、いつ開所しているのか、どのようなプログラムを提供しているのかなど、基本的な情報が可視化されたものではありませんでした。また、運営者同士の交流の場も少なく、ノウハウを共有する機会もありませんでした。そこで、神戸で初めてとなる 200 人規模の居場所サミットを開催し、情報収集・ノウハウ共有などを行いました。さらに 274 ヶ所の居場所情報を見える化し、エリアごとにマッピングしてデータ集としてまとめました。居場所を必要とする人、必要とする人をサポートする人、これから居場所をやってみたい人などに利用してもらえればと考えています。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
受講料	22,000
自己資金	10,833
合 計	532,833

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	人件費	280,000	280,000
	謝金	69,000	69,000
	旅費交通費	15,420	15,420
	その他 (会場費、消耗品費等)	24,461	24,461
	小 計	388,881	388,881
間接経費 (一般管理費)		143,952	111,119
合 計		532,833	500,000

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費収入	123,000
自己資金	28,291
合 計	651,291

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直 接 経 費	人件費	174,500	174,500
	謝金	130,000	130,000
	広報費	69,000	69,000
	その他 (通信費、旅費等)	106,711	106,711
	小 計	480,211	480,211
間接経費 (一般管理費)		171,080	19,789
合 計		651,291	500,000